

平成31年第1回定例会

平成30年度補正予算（案）の概要

第1回定例会では、外国人観光案内所の非常時停電対策に向けた支援として「訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金」を計上したほか、国の補正予算に対応するため、「低所得者・子育て世帯向けプレミアム付商品券事業費」を繰越明許費として計上しました。また、歳入では市税などの増額や減収補填債を計上するとともに、歳出では市債利子や職員給与費の決算見込額を精査し減額するなど、所要の補正を計上しました。

会計名	補正予算額
一般会計	△ 1億5,447万9千円
港湾整備事業特別会計	△ 1,104万2千円
国民健康保険事業特別会計	△ 189万3千円
介護保険事業特別会計	△ 2億574万9千円
病院事業会計	3億3,600万円
合計	△ 3,716万3千円

【補正予算の主な内容】

◆ 一般会計

◆ 国の平成30年度補正予算関連

低所得者・子育て世帯向けプレミアム付商品券事業費【繰越明許費】 1,301万1千円

(繰越明許費 1,301万1千円)

消費税・地方消費税の引上げが低所得者・子育て世帯（0～2歳児）の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起することを目的として、プレミアム付商品券を発行・販売

◆ その他の補正予算

北海道新幹線建設費負担金 2,539万2千円

(当初1,500万円→4,039万2千円)

土地取得協議の進捗状況が予定より早まっていることに伴う負担金の増

民間保育施設等整備支援事業費補助金 △3,404万円
(いなほ幼稚園)
(当初2億4,126万4千円→2億722万4千円)
工期の変更に伴う減

健康診査等事業費(各種がん検診)
(※歳入)国保特会負担金収入 150万円
保健所が実施しているがん検診実施事業に対する、国保特会からの負担金収入による財源振替

農業次世代人材投資事業費補助金 112万5千円
(3定112万5千円→225万円)
次世代を担う新規就農者に対し、就農直後の経営確立を支援するため資金を交付

訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金 50万円
外国人観光案内所の業務継続能力の強化を図るため、非常電源装置及び携帯電話充電器等の整備に要する費用の一部を助成
(助成先：一社 小樽観光協会、小樽堺町通り商店街振興組合)

地籍調査事業費 △1,090万7千円
(当初1,092万8千円→2万1千円)
事業の延期に伴う減

石狩湾新港管理組合負担金 △3,867万円
(当初2億8,451万8千円→2億4,584万8千円)
負担率 道4/6、小樽市1/6、石狩市1/6

市債利子 △2,000万円
平成30年度市債借入利率の低下に伴う減

職員給与費 △1億4,000万円
決算見込みの精査に伴う減

◆ 繰越明許費

鉄道駅バリアフリー化設備等整備事業費補助金【繰越明許費】 —
(繰越明許費 3,500万円)
年度内工事未了による繰り越し

(国等への返還金)国や道から超過交付となった国庫支出金等の返還
過年度超過交付額返還金 180万2千円

(その他)

[歳入]	市税	28,000万円
	土地売払収入	359万5千円
	財政調整基金繰入金	△7億5,150万4千円
[市債]	市債充当による財源振替	5,130万円
	退職手当債	5,610万円
	減収補填債	1億460万円
[積立金]	学校教育施設整備資金基金積立金	2万円
	寄附に伴う積立金	8,665万円
	小樽ファンが支えるふるさとまちづくり資金基金積立金ほか6件	
[繰出金]	特別会計への繰出金	△3,936万2千円
	(減額) 港湾整備事業特別会計、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計	

◆ 特別会計

◇ 港湾整備事業特別会計

	中央ふ頭国有地購入関係経費	△1,104万2千円
	ひき船建造事業費	
(※歳入)	市債	△400万円
[歳入]	建物売払収入	1,620万円
[市債]	資本費平準化債	△2,310万円

◇ 国民健康保険事業特別会計

	職員給与費	△1,000万円
	北海道国民健康保険団体連合会負担金	48万円
	がん検診実施事業費	150万円
	国民健康保険事業運営基金積立金	612万7千円

◇ 介護保険事業特別会計

職員給与費	△600万円
保険給付費	△2億8,400万円
地域支援事業費	3,400万円
介護給付費準備基金積立金	5,025万1千円

◆ 企業会計

◇ 病院事業会計

給与費	1億2,000万円
材料費	2億円
雑損失	1,600万円
[医業収益]	2億3,600万円

上記のほか、
一般会計では事業費の財源振替、特別会計では一般会計からの繰入などを予算計上しています。